

2021年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ: ここが分かっていない物質科学

趣 旨:

物質に関する講義やテキストでは、全てが理解されているかのように話が進んでゆく。果たして物質についての理解は充分得られているのであろうか。何が分かっていないかを知ることも重要でないだろうか。物質科学概論では、物質科学コースの研究者が挑んでいる物質の謎について、理論や実験、対象となる物質の多様性など様々な切り口で紹介をする。

時 限: 月曜5限

場 所: オンライン(Zoom)で実施 アドレスはUTASからシラバス参照のこと

日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	10/4(月)	柳澤実穂	細胞スケールにおける相転移の解明から、細胞内相転移の理解へ
2	10/11(月)	長谷川宗良	分子回転にともなうエネルギー準位は規則的なのか?
3	10/18(月)	加藤雄介	超伝導状態の理論
4	10/25(月)	宮島謙	遷移金属クラスターと分子の反応
5	11/1(月)	野口篤史	真空中に浮いた裸の電子と物質科学
6	11/8(月)	横川大輔	生体内化学反応は物理化学で理解できるか
7	11/15(月)	上野和紀	固体と固体、固体と液体をくっつけたとき、その中のイオン、電子はどのようにふるまうのか?
8	11/29(月)	平岡秀一	分子自己集合における未解決問題
9	12/6(月)	福島孝治	原子Aと原子Bを1:2で混ぜたとき、どんな結晶ができるか?
10	12/13(月)	羽馬哲也	なぜ星間空間には200種類を超える分子が存在するのか?
11	12/20(月)	前田京剛	わかっていないことだらけの現代物性物理ー超伝導を題材にしてー
12	12/27(月)	岩井智弘	触媒デザインによる化学反応の開拓
-	1/7(木)	予備日	ー

成績評価の方法:

各教員から出題される計12の課題のうち3つを選択し、レポートを提出すること。

提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。